



平成30年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月12日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 問合せ先責任者 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	8,272	21.7	364	2.0	371	9.6	285	46.4
29年4月期第3四半期	6,798	13.6	357	70.9	339	65.1	195	55.6

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 287百万円(46.5%) 29年4月期第3四半期 196百万円(63.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	47.83	47.06
29年4月期第3四半期	32.68	31.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	4,629	2,302	49.1
29年4月期	4,144	2,054	48.9

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 2,274 百万円 29年4月期 2,026 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	—	—	7.00	7.00
30年4月期	—	—	—	—	—
30年4月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,076	14.9	600	8.0	600	12.3	389	23.9	65.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)株式会社足立製作所、除外1社(社名)株式会社サロンキャリア

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期3Q	5,976,000株	29年4月期	5,976,000株
30年4月期3Q	482株	29年4月期	444株
30年4月期3Q	5,975,546株	29年4月期3Q	5,975,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しております。一方、美容業界におきましては、顧客単価の下落、店舗間競争の激化、新卒美容師の減少、小規模サロンの後継者不足など、サロン経営において厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループではリピート商材の拡充による「フロー&ストック型収益構造」への転換及びサロン向け「開業+経営支援」のサービス領域拡大を目的として、各種取組を継続的に実施しました。

当第3四半期連結累計期間には、美容業界最大のイベント「Beauty World Japan2017」への出展、大阪総合ショールームの開設、通販カタログ誌4種の発刊、株式会社ジャックスと共同で積立制度を構築した「BEAUTY GARAGE スマート積立」の募集、株式会社クレジットエンジンが提供するオンライン融資サービスを当社顧客に提供する専用サービス「LENDY for BEAUTY GARAGE」の開始を行うなど、積極的なプロモーションとマーチャンダイジング施策を実施してまいりました。

なお当第3四半期連結会計期間においては、当社グループとして2件のM&Aを実施いたしました。平成29年11月には、当社子会社である株式会社タフデザインプロダクト（以下「タフデザインプロダクト」という。）にて、金属製家具・用品の製造から販売まで手掛ける株式会社足立製作所（以下「足立製作所」という。）の全発行済株式を取得し、子会社化（当社の孫会社化）いたしました。今回のタフデザインプロダクトによる足立製作所の株式取得により、タフデザインプロダクトのデザイン力と足立製作所の金属加工技術を組み合わせることによる商品開発力の向上はもとより、自社グループ内での日本製製品の製造体制が初めて構築されることとなります（足立製作所については、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。）。

また平成29年12月に当社は、シンガポールにおいて美容商材卸販売業を展開し、マレーシアにも子会社HARU GLOBAL BEAUTY SDN. BHD. を有するHARU GLOBAL BEAUTY PTE. LTDの第三者割当増資を引受け子会社化いたしました（海外子会社2社については、当第3四半期連結会計期間においては連結の範囲に含めておりません。）。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,272,047千円（前年同期比21.7%増）、売上総利益は2,631,268千円（前年同期比15.1%増）、営業利益は364,648千円（前年同期比2.0%増）、経常利益は371,730千円（前年同期比9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は285,832千円（前年同期比46.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および「EYELASH GARAGE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、全国の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

累計登録会員総数は336,549口座（前年同期比10.1%増）、アクティブユーザ数（過去1年間で1回以上購入したユーザ数）は96,626口座（前年同期比9.8%増）、ロイヤルユーザ数（過去1年間で6回以上購入したユーザ数）は23,435口座（前年同期比26.8%増）となり、リピート顧客の増加が顕著となりました。

「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由売上高は物販事業売上高の7割超を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特に、スマホ専用ECサイトやスマホ発注アプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しております。EC経由売上高は前年同期比25.1%増と伸びました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新ブランドの取り扱い開始や新商品の積極投入に加えて、欠品防止を目的とした在庫補強を行うなど、各種商品ラインナップの強化に努めてまいりました。特に理美容化粧品やエステ化粧品、ネイル・まつ毛材料など、化粧品・材料カテゴリーの売上高が全般的に好調に推移し、前年同期比36.4%増と物販事業売上高の前年同期比を大きく上回りました。

また、当第3四半期連結会計期間から足立製作所を物販事業のセグメントとして新たに追加しており、売上高157,030千円を取り込んでおります。

この結果、当事業の売上高は6,340,293千円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は495,646千円（前年同期比16.6%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

タフデザインプロダクトは、これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ておりましたが、ビューティガレッジグループとしての連携強化と人員強化による積極的な営業活動を行った結果、チェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加し、当事業の売上高は1,761,429千円（前年同期比32.1%増）、セグメント利益は106,010千円（前年同期比71.0%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リース等の各種ソリューションメニューを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該その他周辺ソリューション事業においては、単体での収益化以上に当社の主力事業である物販事業や店舗設計事業への入り口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようにしております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、店舗リース、保険サービスは堅調に伸長しましたが、集客支援サービス、採用支援サービスなどが前年割れとなった影響が大きく、当事業の売上高は170,324千円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益は4,591千円（前年同期比84.1%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、3,498,963千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少があったものの、棚卸資産及び売上債権の増加があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて71.9%増加し、1,130,843千円となりました。これは、主に無形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、1,866,264千円となりました。これは、主に仕入債務及び未払法人税等の減少があったものの、短期借入金及び賞与引当金の増加があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて83.3%増加し、461,016千円となりました。これは、主に長期借入金の増加があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、2,302,525千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少41,828千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加285,832千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月12日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,323	447,729
受取手形及び売掛金	837,384	896,648
商品及び製品	1,044,557	1,412,229
仕掛品	141,931	147,872
その他	337,845	614,711
貸倒引当金	△19,846	△20,228
流動資産合計	3,486,194	3,498,963
固定資産		
有形固定資産	123,542	257,554
無形固定資産		
のれん	-	129,498
ソフトウェア	37,450	39,568
ソフトウェア仮勘定	204,700	289,135
その他	116	755
無形固定資産合計	242,266	458,957
投資その他の資産	292,214	414,330
固定資産合計	658,024	1,130,843
資産合計	4,144,218	4,629,806
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	762,646	621,705
短期借入金	29,170	60,000
1年内返済予定の長期借入金	127,834	201,925
未払法人税等	140,342	54,390
賞与引当金	34,231	100,668
製品保証引当金	9,921	5,081
受注損失引当金	1,679	1,869
株主優待引当金	3,240	2,430
資産除去債務	571	-
その他	729,004	818,194
流動負債合計	1,838,638	1,866,264
固定負債		
長期借入金	90,645	210,469
ポイント引当金	51,770	56,961
資産除去債務	42,739	43,982
その他	66,382	149,603
固定負債合計	251,536	461,016
負債合計	2,090,174	2,327,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,745	269,745
資本剰余金	220,512	220,512
利益剰余金	1,536,791	1,784,114
自己株式	△274	△351
株主資本合計	2,026,774	2,274,019
新株予約権	236	-
非支配株主持分	27,033	28,505
純資産合計	2,054,043	2,302,525
負債純資産合計	4,144,218	4,629,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	6,798,736	8,272,047
売上原価	4,512,913	5,640,779
売上総利益	2,285,823	2,631,268
販売費及び一般管理費	1,928,460	2,266,619
営業利益	357,363	364,648
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	59
為替差益	-	6,401
受取手数料	941	640
その他	2,272	2,131
営業外収益合計	3,235	9,234
営業外費用		
支払利息	658	1,062
為替差損	2,548	-
市場変更費用	16,770	-
障害者雇用納付金	-	1,000
その他	1,481	89
営業外費用合計	21,457	2,152
経常利益	339,140	371,730
特別利益		
固定資産売却益	225	-
新株予約権戻入益	-	236
特別利益合計	225	236
特別損失		
投資有価証券評価損	31,999	-
和解金	-	489
特別損失合計	31,999	489
税金等調整前四半期純利益	307,366	371,477
法人税、住民税及び事業税	137,348	119,984
法人税等調整額	△26,135	△35,812
法人税等合計	111,212	84,172
四半期純利益	196,153	287,305
非支配株主に帰属する四半期純利益	881	1,472
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,272	285,832

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	196,153	287,305
四半期包括利益	196,153	287,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,272	285,832
非支配株主に係る四半期包括利益	881	1,472

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,275,372	1,333,673	189,690	6,798,736	—	6,798,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	155,220	29,832	24,898	209,951	△ 209,951	—
計	5,430,593	1,363,506	214,589	7,008,688	△ 209,951	6,798,736
セグメント利益	424,903	61,988	28,813	515,705	△ 158,342	357,363

(注) 1. セグメント利益の調整額△158,342千円には、セグメント間取引消去16,526千円、未実現利益の調整額413千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,282千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,340,293	1,761,429	170,324	8,272,047	—	8,272,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	289,356	38,562	50,583	378,503	△ 378,503	—
計	6,629,650	1,799,991	220,908	8,650,551	△ 378,503	8,272,047
セグメント利益	495,646	106,010	4,591	606,248	△ 241,600	364,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,600千円には、セグメント間取引消去△33,187千円、未実現利益の調整額11,348千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,761千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物販事業」セグメントにおいて、株式会社足立製作所の株式の取得に伴い、第3四半期連結会計期間より同社を連結範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は136,314千円であります。